

青少年もがみ

第24号 平成28年8月1日

— 発行 —

最上地区青少年育成連絡協議会

「夜空を見上げて」

最上地区青少年育成連絡協議会会長 橋本 正



前任の矢口信一会長よりバトンを受けまして、28年度から最上地区青少年育成連絡協議会会長を仰せつかりました最上町の橋本正と申します。なにせ浅学非才の身、皆様のご指導・ご協力をいただきながら、務めさせていただきたいと思っております。よろしくお願いたします。

さて、青少年をとりまく環境は日々変化し、良い事も悪い事もすぐにインターネット、携帯のメールやラインで見る事ができます。スピード感があって便利なものですが、使い方次第では、「いじめ」を誘発したり、犯罪に関わったりと重大な事件に発展していることもあると聞いています。親は子に買い与えた責任として、それらをしっかりと管理していく義務があるはず。子どもと向き合って家族で話し合ってみませんか。この事が、家庭力の再確認、再発見につながるものと信じます。

戦後71年、私たち大人はスピードや利便性を余りにも追求しすぎて、置き忘れてきた大事なものも数多くあるように感じます。「ゆっくり」とか「時間をかけて」とかがどこかにいってしまったような気がします。結果が重要視される昨今ですが、大事なのはそこにたどり着くまでの過程ではないでしょうか。

今年も早いもので半年が過ぎました。七夕の月を迎えて、織姫・彦星が、天の川で一年に一度出会う最も近い夜空が、新庄・最上の真上だと聞いた事があります。天気の良い夜、子ども達と「ゆっくり」夜空を観てみませんか。ふるさとを愛し、ふるさとにほこりをもてる青少年が最上に定着できることを願って！

平成28年度最上地区青少年育成連絡協議会の活動紹介

最上地区青少年育成連絡協議会：最上地区の子ども・若者を健全に育成することを目的に、各青少年育成市町村民会議、青少年育成推進員、学校、PTA、行政が連携し、活動を展開している組織です。

1. 役員

- ◇会長：橋本 正（最上）
- ◇副会長：斎藤 宏（新庄）、小松 功（真室川）
矢口 智（大蔵）、水戸 一徳（鮭川）
- ◇監事：熊沢 健（大蔵）、柿崎 英矢（戸沢）

2. 28年度 主な事業

① 県民運動の推進

- ・ “いじめ・非行をなくそう” やまがた県民運動
- ・ 「大人が変われば子どもも変わる」 県民運動
- ・ 「明るいやまがた」夏の安全県民運動

② 有害環境浄化活動

- ・ 書店及び自動販売機の有害図書立ち入り調査
- ・ 街頭巡視活動

③ 広報、啓発活動

- ・ 情報誌「青少年もがみ」24号、25号発行
- ・ 青少年育成推進員機関紙「たづな」41号発行
- ・ 広報車による街頭広報
- ・ “いじめ、非行をなくそう” の標語募集



（各地域で行われている青少年健全育成活動）

④ 研修、会議等

- ・ 最上地区青少年育成懇談会
（生徒と地域の大人の対話会）
12月17日（土）新庄市民プラザ（午前中）
- ・ 最上地区青少年育成推進員研修会